

令和4年度事業報告

I 概要

岡山県内の雇用情勢は、令和4年2月に1.44倍（全国1.21倍）であった有効求人倍率が、令和5年2月には1.57倍（全国1.34倍）となり、求人に持ち直しの動きがみられます。

このような状況の中、当シルバー人材センターにおきましては、会員、役職員が共にシルバー事業の推進に最大限努めてまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策の継続を余儀なくされ、就業機会創出員による企業・家庭への面談による就業開拓を控え、役職員による街頭キャンペーンも中止となったことなどから、シルバー事業全般に様々な影響を及ぼしています。

令和4年度の主な事業実績の内、会員数につきましては、昨年度の大幅減少に歯止めをかけるべく会員増強に努力してまいりましたが、昨年度の減少幅を大きく上回る79名減少、対前年度比94.5%という結果に終わりました。

また、受注件数につきましては、請負・委任事業については、対前年度比94.9%、人材派遣事業についても対前年度比82.0%の大幅減少となりました。

契約金額につきましては、請負・委任事業については、対前年度比95.0%、すべての種別で減少となり、人材派遣事業についても、対前年度比93.7%の減少となりました。

以下、諸事業の実施状況を次のとおり報告いたします。

II 事業実績の概要

区 分	令和4年度	令和3年度	前年度対比(%)	
会 員 数 (人)	1,380	1,459	94.6	
就 業 人 員 (人)	1,222	1,264	96.7	
就 業 率 (%)	88.5	86.6	102.2	
請 負 ・ 委 任	就業延人員 (人)	108,161	115,213	93.9
	受注件数 (件)	10,824	11,403	94.9
	公 共	232	259	89.6
	企業等	1,067	1,096	97.4
	個人・家庭	9,523	10,046	94.8
	独自事業	2	2	100.0
	契約金額 (円)	478,509,900	503,898,457	95.0
	公 共	183,503,421	193,498,790	94.8
	企業等	114,197,596	118,096,143	96.7
	個人・家庭	179,498,783	190,987,324	94.0
	独自事業	1,310,100	1,316,200	99.5
	配 分 金 (円)	389,838,859	415,379,561	93.9

区 分		令和4年度	令和3年度	前年度対比(%)
人 材 派 遣	登録会員(人)	116	151	76.8
	就業実人員(人)	141	179	78.8
	契約件数(件)	(公共)2(民間)112	(公共)2(民間)137	82.0
	契約金額(円)	88,347,719	94,263,912	93.7
	支払賃金(円)	70,484,780	74,315,856	94.8
	拠点委託費(円)	8,174,004	10,936,486	74.7
契約金総額		566,857,619	598,162,369	94.8

III 事業の実施状況

1 シルバー人材センター事業の普及啓発活動

シルバー事業の理念を地域に広く周知し、事業の発展・拡大を図るため、コロナ禍の中、様々な機会をとらえて普及啓発活動を実施しました。

(1) 市広報及び報道機関を活用した普及啓発

市の広報紙の活用、報道機関への情報提供等による普及啓発活動を実施し、シルバー事業のPRに努めました。

(2) ホームページ等を活用した普及啓発

当センターのホームページ、デジタルサイネージによる画像等の配信、路線バスの車両広告等により事業内容を分かりやすく情報提供するよう努めました。

(3) ラジオ番組出演による情報発信

FM ぐらしきに毎月1回、会員と事務局職員が出演し、会員の体験談や入会説明会の案内等により情報発信に努めました。

(4) 街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。代わりに JA 晴れの国岡山、スーパー等、36店舗に合計3,600枚のチラシを設置しました。

(5) 事業拡大キャンペーン

倉敷市役所庁舎で「手づくりの店」を出店し、シルバー事業紹介パネルの展示等による普及啓発活動を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。

(6) 地域イベントへの参加

女性対策委員会を中心に「いきいきふれあいフェスティバル」(10月)「JFE西日本フェスタ in ぐらしき」(11月)に参加し、会員手づくりの手芸品、せっけんなどを販売するとともに、会場ではリーフレットやポケットティッシュを配布しました。

(7) お仕事紹介フェアへの参加

「シニアのための就職相談会」(12月)に参加し、シルバー事業のPRに努めました。

(8) 「会員手づくりの店」の運営

女性会員による手づくりの袋物、人形、マフラー、ベスト、干支ストラップ、せっけん等を展示販売し、多くの市民に好評でした。

2 会員の増強

原則として毎月（1・2月を除く）第2水曜日に入会説明会、第3水曜日に入会登録会を本部及び真備支所で実施しました。

上記以外に、玉島市民交流センター、児島市民交流センター、水島愛あいサロン及び船穂連絡所で入会説明会及び入会登録会を実施しました。また、オンラインでの入会説明会参加も可能になりました。

入会説明会には308名（内オンライン56名）の参加者があり、その内190名の新規入会がありましたが、病気、加齢等による退会者も269名あり、会員数は、前年度より79名減の1,380名となりました。

3 就業機会の確保と拡大

(1) 就業開拓

会員の多様な就業ニーズに応えるため、また、一人でも多くの会員が就業の機会を得られるよう、各地区に配置した就業機会創出員、地域班長等が、一般家庭にチラシをポスティングし、並びに公民館、憩の家等公共施設にチラシ及びポケットティッシュを設置し、シルバー事業のPRを行うなど受注の拡大に努めました。

令和4年度就業機会創出員による活動状況（5月～3月）

地区	創出員数	就業日数	就業時間	訪問件数	面談件数
倉敷	4名	416日	2,080時間	17,430件	0件
水島	2名	129日	645時間	6,128件	0件
児島	2名	218日	1,090時間	7,923件	0件
玉島	2名	147日	735時間	4,602件	0件
真備 船穂	1名	75日	375時間	594件	0件
計	11名	985日	4,925時間	36,677件	0件

また、11月から12月にかけてシルバー人材センター作成のカレンダー、リーフレット等を持参して、シルバー会員の継続就業及び新たな受注の拡大に努めました。

さらに、今後の高齢社会の進展に対応して創設した「シルバーレンジャー隊」は、現在90名の会員が登録し、高齢者及び一人世帯の日常生活を機動的にサポートするなど、就業機会の拡大に努めています。

(2) 講習会等

発注者のニーズに応えられるよう、「草刈安全講習会」、「剪定会員養成講座」等を実施し、会員の技能習得及び知識の向上に努めました。

「剪定会員養成講座」には、30名が受講し、3名が剪定会員として合格しました。

また、発注者へのより一層、親切・丁寧な対応を図るための自己啓発講座としまして、「接遇・マナー講座」、「アンガーマネジメント講座」を開催しました。

研修会、講習会等の実施状況

講座名	回数 (回)	実人員 (人)	備考
剪定会員養成講座(10日間/回)	2	18	合格4名
リフレッシュ講習会(安全運転講習)	3	15	
生活支援訪問サービス従事者研修	3	41	修了者31名
保育サポーター養成研修	1	18	修了者16名
接遇・マナー講座	6	40	
アンガーマネジメント講座	3	29	
草刈講習会(初心者・経験者合同)	1	34	初心者21名 経験者13名
初心者剪定講習会	1	17	

4 安全・適正就業の推進

会員の就業中又は就業途上での事故防止及び適正な就業を図るため、安全・適正就業委員会を中心に組織的な安全・適正就業に取り組みました。

(1) 安全就業

「安全ニュース」を年2回(7月・1月)発行し、事故の予防対策及び発生情報を掲載し、会員一人ひとりの安全への自覚を喚起しました。

また、安全・適正就業委員及び安全推進員による就業現場の安全パトロールを年間51箇所を実施し、現場での注意及び指導を行いました。

令和4年度安全パトロール実施状況

	実施期間	実施箇所数	実施延日数	実施延委員数
本部・船穂連絡所	8/1~3/13	29箇所	15日	28名
真備支所	8/22~12/13	22箇所	4日	8名
計	8/1~3/13	51箇所	19日	36名

就業中の事故件数は、次表のとおりです。飛び石等の事故防止を目的に「草刈安全講習会」を2月に市内1カ所で開催し34名が参加しました。

事故発生件数(請負・保険適用)

年度	傷害	損害賠償	計
令和3年度	9件	8件	17件
令和4年度	8件	4件	12件

事故発生件数(人材派遣・労災保険適用)

年 度	通勤災害	業務災害	計
令和3年度	0件	1件	1件
令和4年度	0件	1件	1件

今後とも会員一人ひとりが「安全就業基準」を守り、「事故ゼロ」に繋がるよう引き続き更なる安全意識の高揚に努めます。

(2) 適正就業

シルバー事業本来の適正で適切な就業を行うため、「就業の基準に関する要綱」に基づき、放置自転車等街頭指導、駐輪場及び公共的就業場所での長期継続就業の解消を図るとともに、ローテーション就業の推進に努めました。

また、適正就業の徹底を図るため、厚生労働省等作成の「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に基づき、役職員、発注者及び会員に対し、指導等を行いました。

5 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の促進

会員の多様な働き方の選択肢及び就業機会の拡大を図るため、企業等において社員との混在就業及び指揮命令下での就業が可能な「労働者派遣事業」を推進しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響等により契約件数は25件の減少となり、契約金額は591万円余の減となりました。

6 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の促進

国の補助事業として、サービス業等の人手不足分野及び介護・育児等の現役世代を支える分野での就業機会の開拓及びマッチングを図り、高齢者の活用を推進することにより、地域の企業活動及び経済・社会の活性化を図りました。

7 子育てママと高齢者等の生活介護支援事業の実施

寝たきり高齢者及び障がい者への話し相手などの福祉サービスが30件、家事援助サービスが372件、育児支援サービスが4件の合計406件の支援を行いました。

また、社会福祉協議会等の福祉団体による生活支援サービス事業者間連絡会議に出席し、情報交換と連携を図りました。

さらに、会員の知識・技術と就業意欲の向上を図るため、保育サポーター養成講座を1回実施し、18名が受講、16名が修了し、生活支援訪問サービス従事者研修を3回実施し、41名が受講、31名が修了しました。

8 有料職業紹介事業の実施

有料職業紹介事業の要請はなく、実施はありません。

9 ボランティア活動と地域貢献

シルバー事業の活動基盤となる地域社会への貢献の一環として、児島湖流域清掃大作戦に参加しました。